

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	
ET46J018	臨床心理基礎実習(Basic Practical Training in Clinical Psychology I)					臨床心理学	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員	
選択	2	1	大学院教育学研究科	通年		氏名 田中新正・池永恵美 E-mail m-ikenaga@oita-u.ac.jp 内線 6107	
授業の概要	【前期】臨床心理学の基本である面接について、実習を通して基礎的理論、基礎的技法を学習することで、実践的能力を育てる。 【後期】臨床心理面接において、必要な基本的な知識と技法・心構え・態度・価値観について学ぶことで実践的能力を育てる。						
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
目標1	クライエントの話を傾聴し、理解の仕方と応答の基本的技法を身につける。						
目標2	臨床心理面接に必要な知識と技法・心構え・態度・価値観を学ぶことで実践的能力を身につける。						
目標3							
目標4							
目標5							
目標6							
目標7							
目標8							
目標9							
目標10							
授業の内容							
1	感情の理解						
2	行動の理解						
3	感情と行動の理解						
4	聴くこと						
5	クライエントの理解						
6	正確な理解						
7	応答の要素						
8	面接実習・討議の練習						
9	模擬面接テープによる討議						
10	"						
11	"						
12	"						
13	"						
14	"						
15	ロールプレイから学んだこと						
16	ガイダンス						
17	話の中の要素分析の練習 1						
18	" 2						
19	フィードバックの練習 1						
20	" 2						
21	感情の反射の練習 1						
22	" 2						
23	クライエントの気持ち理解の練習						
24	クライエントの価値観理解の練習						
25	クライエントの質問に対する応答の練習						
26	インテイク面接の観察						
27	保護者との面接相談の実習 1						
28	" 2						
29	実習体験についての討議						
30	模擬心理面接から学んだこと						
ラーニング	A:知識の定着・確認	授業は学生間でのディスカッションを中心に進める				工夫	その他の
	B:意見の表現・交換						
	C:応用志向						
	D:知識の活用・創造						
時間外学習の内容と時間の目安	準備	臨床心理面接に関する基礎知識について書籍等を通して事前に学習しておくこと(5h)					
	学修	模擬面接の発表資料作成(5h)					
	事後学修	学生間での模擬面接の実施・記録(10h)。保護者との模擬面接の実施・記録(15h)。授業で配布した資料を用いて復習をすること(10h)。					
教科書	特に使用しない。適宜、プリントを配布する。						
参考書	適宜紹介する。						

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加態度	60%										
	レポート	40%										
注意事項	本科目は臨床心理士受験資格取得に関する必修科目である。臨床心理士受験資格取得のための必修科目については、別に配付する資料に基づいて履修すること。											
備考	なし											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無												
教員の 実務経験	田中新正（臨床心理士）、池永恵美（臨床心理士）											
実務経験を いかした 教育内容	スクールカウンセラーの経験に基づきアドバイスを行う。											